
宣言延長の際のフォワードガイダンス

2021年5月6日

藤井大輔(東京大学)
仲田泰祐(東京大学)

オプションを4つ提示

■ Alternative A

- A mix of calendar-based FG and quantitative outcome-based FG augmented with informal qualitative outcome-based FG
- 期間は「4週間」を目安

■ Alternative A+

- 「4週間」ではなく「3週間」。それ以外はAlternative Aと同じ

■ Alternative B

- Qualitative outcome-based FG augmented with a mix of informal calendar-based and quantitative outcome-based FG
- 期間は「4週間」を目安

■ Alternative B+

- 「4週間」ではなく「3週間」。それ以外はAlternative Bと同じ

■ **Alternative A** [A mix of calendar-based FG and quantitative outcome-based FG augmented with informal qualitative outcome-based FG]

■ Formalなガイダンス(基本対策方針)

- 「6月6日を目安(約4週間)」
- 「ステージ3を目安に総合判断」を維持

■ Informalなガイダンス

- 「新規感染者数・重症使用率の現状と今後の見通しをもとに、再度緊急事態宣言を近い将来避けられるとある程度確信出来た時点で解除」と伝える(「ステージ3相当かどうか」をどう判断するかに具体性を加える主旨)
- 新規感染者数・重症使用率今後の見通しに関しては、ワクチン接種の見通しを始め、様々な要素を考慮することを強調する
- 保守的なワクチン接種仮定のもとで、今後の人流がをどのくらい低下すると4週間以内に解除できそうかという目安を人々に提示。人流低下がそれよりも小さいと4週間以上必要となる・逆に人流低下がそれよりも大きいと4週間以内に解除必要となることも強調
- あくまで目安である事・またワクチン接種仮定に大きく依存する目安である事も強調

■ Alternative A+

- 基本対策方針では「5月30日を目安(約3週間)」とし、
- Informalなガイダンスでは、4週間を3週間に置き換えたVersionを利用
- それ以外はAlternative Aと同じ

■ Alternative B [Qualitative outcome-based FG augmented with a mix of informal calendar-based and quantitative outcome-based FG]

■ Formalなガイダンス(基本対策方針)

- 期間を削除
- 「ステージ3を目安に総合判断」を削除
- 「新規感染者数・重症使用率の現状と今後の見通しをもとに、再度緊急事態宣言を近い将来避けられるとある程度確信出来た時点で解除」と記す。ワクチン接種の見通しを始め、様々な要素を考慮することを強調する

■ Informalなガイダンス

- 保守的なワクチン接種仮定のもとで、今後の人流がをどのくらい低下すると4週間以内に解除できそうかという目安を人々に提示。人流低下がそれよりも小さいと4週間以上必要となる・逆に人流低下がそれよりも大きいと4週間以内に解除必要となることも強調
- あくまで目安である事・またワクチン接種仮定に大きく依存する目安である事も強調

■ Alternative B+

- Informalなガイダンスで、4週間を3週間に置き換えたVersionを利用
- それ以外はAlternative Bと同じ

- 毎週火曜日分析を更新

<https://Covid19OutputJapan.github.io/JP/>

- 質問・分析のリクエスト等
 - dfujii@e.u-tokyo.ac.jp
 - taisuke.nakata@e.u-tokyo.ac.jp